

【滝信四郎氏の経歴】

滝信四郎（たきのぶしろう）（1868-1938年）

滝信四郎氏は、風光明媚な蒲郡をこよなく愛し、蒲郡の観光開発に多大な貢献をした実業家である。

名古屋で呉服商を営んでいた滝家の五代目当主となった信四郎氏は、先代から受け継いだ滝兵右衛門商店を大正元年（1912）に資本金50万円で株式会社「滝兵商店」（現：タキヒヨー株式会社）に改めた。

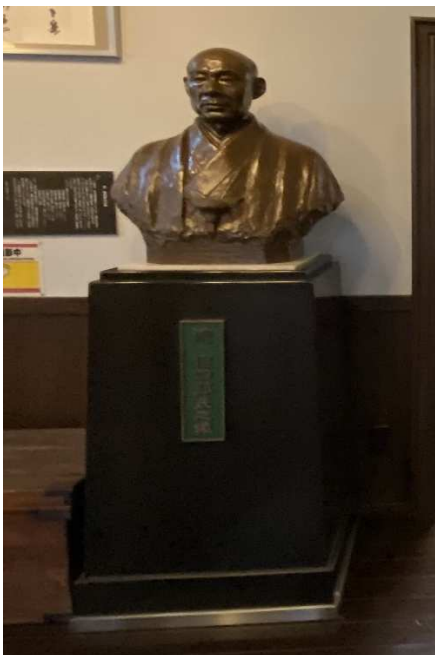
同氏が手がけた事業を大別すると、観光関係と繊維関係に二分される。

そのうち、蒲郡における主な事業は

- ・常磐館の開業 明治45年（1912）
- ・竹島橋を寄付 昭和7年（1932）
- ・共楽館の開業 昭和9年（1934）
- ・蒲郡ホテルの開業 昭和9年（1934）
- ・竹島館を寄付 昭和12年（1937）
- ・子安弘法大師像を寄付 昭和12年（1937）

などで、同氏は多額の私財を投じて、蒲郡の観光の基礎を築いた。

（参考：海辺の文学記念館内 展示説明ボード）



海辺の文学記念館（常磐館の趣を再現）